

みんななかまさ!

〈 きれいはいのプログラム 〉

しかい : かなざわ けいこ

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1、しずかなころ | |
| 2、みんなで歌うた | ♪「夏のあいさつ」P.44 |
| 3、みんなでいのる | 主のいのり P.92 |
| 4、みんなで読むせいしょ | ヨハネによる福音書第14章15-27節 |
| 5、みんなで歌うた | ♪「アーメン アーメン アーメン」P.3 |
| 6、みんなで聞くおはなし | 「こいの きせつです」まつもと なつこ |
| 7、みんなで歌うさんびか | 讃美歌213番 ♪「みどりのまきばに」P.72 |
| 8、けんきん | ♪「いまそなえる」P.92 |
| 9、しずかなころ | |

〈今日の活動〉 工作であそぼう

〈 ほうこく 〉

17日(日)は、「ねんねこさっしやりませ」でした。♪「ねんねこさっしやりませ 寝た子のかわいさ 起きて泣く子の ねんころろん つらにくい ねんころろん ねんころろん」みんなで歌いました。絵本「11ぴきのねこ」(著:馬場のぼる/こぐま社、1967年)を読んできました。ちょっぴり欲張り、そのくせどこか間が抜けている腹ペコのねこたちは、おおきなさかなを生け捕りにして、1晩でたべてしまいました。星が輝く夜空のあとに、骨だけになった魚のインパクトがあって面白かったです。



活動は、久しぶりの縄跳び。小さな子どもでも、大人でも、誰でも楽しめるのが、「なわとび」。大縄を、みんなで流れるように跳びます。跳ばないで走り抜ける人、一回転なんて大技をする人、なかなか入りずらくて悩んでる人。それぞれが、自分のペースで跳べばいい。気が付いたら、何人を入れるか！に挑戦していました。無限にあそべるなわとびです。最後に、ダブルダッチにも挑戦。廻し手も、なかなか難しいし、跳ぶのはもっと難しい。それでも、やっているうちに何回かは、跳び始めるのが子どもたち。恐るべし…。おやつは、じゃがバーグを使って、じゃがバーガーです。採れたてのオニオンライスも入って、大好評。「おかわりはないのか」と、リクエストもたくさんでした。そして、スペシャルなおやつがもう一つ。5月中旬にして、もう「かき氷」の登場で、みんなは大喜び！でした。

〈 こどもといのる 〉

園庭の入口に真っ赤な熟れた実をたくさんつけています。ユスラウメです。5月は、街中、新緑におおわれ、見とれています。特に、園庭の大きな大きなケヤキの木の下で、走り回ったり、休んだり、これから暑くなると、ケヤキの木に守られていることを感謝します。

(もりや ひろこ)

〈 おしらせ 〉

◇6月14日(日)は、「子どもの日・花の日合同礼拝」です。朝の活動は、お休みで、10時からの礼拝になります。どうぞ、ご家族で、ご出席ください。お待ちしております。

牛乳パックを集めています。集まった牛乳パックは「おかえりティッシュ」「ただいまロール」になります。牛乳パックは、45129枚から 21枚 集まりました。合計 **45150枚** になりました。2016年5月末に80000枚に到達し、2016年6月より新たにカウントをスタートしています。

2026年5月17日(日)





一五 もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。一六 わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って、いつまでもあなたがたと共におらせて下さるであろう。一七 それは真理の御霊である。この世はそれを見ようともせず、知ろうともしないので、それを受けることができない。あなたがたはそれを知っている。なぜなら、それはあなたがたと共におり、またあなたがたのうちにいるからである。

一八 わたしはあなたがたを捨てて孤児とはしない。あなたがたのところへ帰って来る。一九 もうしばらくしたら、世はもはやわたしを見なくなるだろう。しかし、あなたがたはわたしを見る。わたしが生きるので、あなたがたも生きるからである。二〇 その日には、わたしはわたしの父におり、あなたがたはわたしにおり、また、わたしがあなたがたにいたり、あなたがたはわたしにいたり、また、わたしのいましめを心にいだいてこれを守る者は、わたしを愛する者である。わたしを愛する者は、わたしの父に愛されるであろう。わたしもその人を愛し、その人にわたし自

身をあらわすであろう」。二三 イスカリオテでない方のユダがイエスに言った、「主よ、あなたご自身をわたしたちにあらわそうとして、世にはあらわそうとされないのはなぜですか」。二四 イエスは彼に答えて言われた、「もしだれでもわたしを愛するならば、わたしの言葉を守るであろう。そして、わたしの父はその人を愛し、また、わたしたちはその人のところに行つて、その人と一緒に住むであろう。二五 わたしを愛さない者はわたしの言葉を守らない。あなたがたが聞いている言葉は、わたしの言葉ではなく、わたしをつかわされた父の言葉である。

二五 これらのことは、あなたがたと一緒にいた時、すでに語つたことである。二六 しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によつてつかわされる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、またわたしが話しておいたことを、ことごとく思い起させるであろう。二七 わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。